

て今や資本主義日本の恐威を招來し、労働争議小作争議の

激烈化と相俟つて救ひ難き情勢を示して来た。

日本資本家地主の最後のモガキとして急速に發展するかの如くみえたファシズムの運動も實は少數反動分子の形を變へた資本主義への忠勤以外ならずして労働大眾は階級闘争を放棄する彼等の態度と歴史的事實が證明する資本主義の最後的な場面に於ける彼等の役割とを充分に批判し曝露して断じて彼等のエジキになる事を拒否した。

最近に於ける國家社會労働同盟の事實上の分裂がよく彼等の正體を曝露して居る。

恐慌に直面して大量的餓首と生活の根底を奪ひ質下げ、

労働強化となほ飽き足らすして労働者農民を犠牲にする

帝國主義戦爭の遂行に日も足らざる日本資本主義の正體を

充分に知りつくした労働者農民大眾は過去の分散的闘争の

敗北の經驗から進んで地域的産業別に更に全國的に統一

された強力なる闘争を亟切に要求して來た。

左右を問はず産業別單一組合結成の要求が大眾の中から強く叫ばれて來た事は其の證左である。

交通産業と雖も金融資本の支配下にある限り世界的經濟

恐慌の嵐の中から除外されるべき事がない。

數千萬圓の赤字を出して破綻に苦しむ國鐵を先頭に、各都

市電氣局及郊外電鐵また極度の行きつまりに悩んで居る。

此の經濟的破綻を打開せんとする資本家階級は一切の負担を労働者に轉嫁して今や全交通労働者の頭上に大量的賦首だけ労働強化の嵐が荒れ狂つて居る。

更に金融資本家の忠實なる番頭各都電氣局は六大都市電氣局長會議から課長會議までも開催して全國的に統制ある労働者搾取の方法を協議し實行して居る。

東京市電の一千六百名餓首二百萬圓人件費削減の大彈壓

は東京市電氣局のみの發案に依るものに非ずして實に交通

産業に君臨する日本金融資本家の全面的な労働者搾取の戰略戰術である。

我が大阪市電氣局に於ても最も巧妙なる方法を以つて労働者の團結力を分散せしめる事に努力し官憲と共に力して戰闘的労働者の容義、檢束に或は様々な理由をつけて數多くの餓首を實行し恩安會費一圓の天引き、スピードアップの實行又は解雇者の補充を一切行はず等々に依る労働強化の強要を行し乍ら次に來るべき大量餓首質下げ堪へ難き労働強化の大暴壓の用意を光沢にて東京市電大彈壓の成果如何にと片づを辱んで待ちあぐんで居る。

利への確固たる方針を樹立し得たのである。

## 組 織

分散的、部分的闘争が如何に慘めな敗北であるかと云ふ

事は過去幾多の失敗から我々は充分に知りつくして居る。

そして全大眾の要求を摂つて交通聯盟の確立に向つて努力したのであった。

だが過去の繩張り主義的殘滓から無意識的に逃れ切れなかつた我々の闘争は亦極めて變則的な不統一な多くの失敗を繰り返した。

交總の指導に依る横濱市電の爭議に對する我々の闘争は『同情ある近所の人』の範囲を一步も出なかつたし、全國的統一闘争にも何等見るべきものがなかつた。

慰安會費削減に依る既得権利奪反対の安全デー決行を除くの外は電氣局に對する闘争も實は組合上層機關の動きに止つた事は誠に遺憾の極みであった。

然し乍ら我々は今過渡的な最も内部的に困難な歩みを續けて居るのである、過去の誤り多き繩張主義的殘滓の一切をぬぎ捨てるべく努力して居るのである。

かくて徐々ながらも他團體の爭議應援闘争を通じて大眾と大衆の握手に志し、更に交通聯盟を通じて戰闘的産業別單一組合の結成に努力し重なる失敗の暗黙たる中から勝

利への確固たる方針を樹立し得たのである。

## 過去の闘争批判

及び大阪市電の現狀

我が組織目標は全國的産業別單一組合の結成である事は云ふまでもない。

更に地域的には我が自助會は關西地方の中心である。

然るで過去に於ける我々の考へ方は『自分の組合でさへ

充分でないのに他の組織まで心配できない』と云ふ無意識のうちの繩張り主義的間違ひを犯して居つた。

個々の分散的闘争の誤謬を知つた我々は來るべき統一闘争のために必死的な未組織獲得の方針を樹立しなければならぬ。

我が關西地方に於ける郊外電鐵の龐大なる大眾は只一つの組織すら持てぬでして飽くなき資本家の意のままに搾取され壓迫されて居る。

我々は過去の漫然たる組織の方法を捨て、確固たる決心を以つて急速に關西地方の統制ある組織を完成しなければならぬ。

我が自助會は鐵の如き統制ある中央集權制を確立し其の大衆をあらゆる闘争に動員しなければならぬ。

數多き未組織交通労働者は我々の握手の手をさしの